昭和31年8月6日第三種郵便物認可
社団法人日本専門新聞協会加盟

建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞社
発行人 大迫 純
鹿児島市錦江町3番
電話 099－227－
FAX 099－225－
振替口座 02020－5
ホームページ
http://www.kc-news.co.

南九州地区総代理店 ㈱南栄技研
本社(099) ☎260-6100
鹿児島(099) ☎260-5200
国分(0995) ☎43-2972
川内(0996) ☎27-1996
鹿屋(0994) ☎40-9360
宮崎(0985) ☎30-9680
都城(0986) ☎38-6120
延岡(0982) ☎63-5458
熊本(096) ☎273-3666
八代(0965) ☎35-4878

亀津地区土地区画整理事業
20年度の事業認可へ

徳之島町

徳之島町が計画する亀津地区土地区画整理事業は、このほど玉野総合コンサルタントの担当で基本設計に着手した。期限は3月中旬まで。事業は、まちづくり交付金を活用して進める方針で、19年度は計画概要に関する住民説明会を開催、20年度の事業認可を目指す。

新年度から住民説明会

同事業は、昭和46年に14・3ha（約550世帯）の施行区域を決定後、30年以上にわたって事業が凍結していたもの。今回改めて基本設計に着手し、今後の整備計画、スケジュール等を定めていく。

事業に関連する幹線道路は、山手通り線（約1000m）と中央通り線（約500m）の2路線。区画道路は、設計がまとまり次第、明らかになる見通しで、区域内には公園3カ所の新設も予定している。

事業計画期間は、平成20－32年度まで。18年度は、現在進める基本設計を19年3月中旬までに終え、19年度は住民説明会を開催、20年度の事業認可を目指して、準備を進めていく。整備は、まちづくり交付金を活用して行う方針だ。

想定される事業費は100億円前後。同町都市

桜島赤水採石跡地整備
19日に検討結果報告

基本構想・計画検討委

鹿児島市

赤水展望広場（仮称）施設配置計画

第7回桜島赤水採石跡地整備基本構想・基本計画検討委員会（金丸哲会長・鹿児島大学法文学部教授）は15日、鹿児島市役所で最終の検討委員会を開き、基本構想・基本計画案に対するパブリックコメントの検討結果等について協議し、意見を取りまとめた。今後は、19日に森博幸市長に同委員会での検討結果を報告する。

検討委員会では、委員らがパブリックコメントで出された意見に対する検討結果について協議し、基本構想・基本計画案への反映等をまとめた。主なものは、赤水採石跡地への交通アクセスの方法や桜島イベント広場への植栽などで、適切な意見を取りまとめた。

なお、同整備における仮称・赤水展望広場の整備すべき施設内容と規模は①休憩施設（避難シェルター兼用）平屋建て約150㎡②展望施設（高さ約5m）③緑地広場（約4000㎡）④モニュメント広場・イベントスペース・展望広場・歩行者園路（約6700㎡）⑤歩行者アプローチ通路⑥駐車場・駐輪場（小型20台、バス3台、バイク・自転車10台程度）⑦安全防護柵（約400m）となっている。

今後のスケジュールは、金丸会長が検討結果をまとめた後、19日に森市長に報告、同下旬に基本構想・基本計画を決定する予定だ。

県公募型指名競争入札案件まとめ

紫原第2団地
13・15号棟など

本紙は、年度内に発注が見込まれる県の公募型指名競争入札案件をまとめた。件数は、屋久島土木事務所土木課の「宮之浦港改修1～3工区」や建築課住宅政策室の「紫原第2団地新築13号棟および15号棟」など7件となっている。

屋久島土木事務所土木課は、「宮之浦港改修」の1～3工区を発注予定。概要は、1工区が防波堤(東)（改良）基礎工、消波工で工期は8カ月間。2工区が防波堤(東)ケーソン製作で工期は7カ月間。3工区が防波堤(東)基礎、本体、上部、消波工で工期は8カ月間。

甑島土木出張所では、「18災14号中甑漁港災害区（手打漁港田港線）」の2件を予定。概要は、中甑漁港が防波堤L50m、手打漁港が潜堤L80mで、工期は8カ月間。

建築課住宅政策室は、紫原第2団地新築の13号棟建築および15号棟建築の2件を予定。概要は、13号棟がRC造8階建249・82㎡（39戸）、15号棟がRC造8階建1940・37㎡（31戸）で、工期は12カ月間となっている。

鶴田ダム操作に関する検討会

きょう、事前打ち合わせ会

九地整

国土交通省九州地方整備局はきょう16日午後2時から、薩摩川内市の川内ホテルで「鶴田ダムの操作に関する検討会」設立のための事前打ち合わせ会を開催する。

18年7月県北部豪雨の洪水直後から「浸水被害はダム操作が原因である」という批判の声が下流域の被災者などからあがっていたことから、ダム下流域の住民代表者や関係自治体、学識者、報道関係者を検討会委員に同会設置を決め、鶴田ダムの操作方法等について意見を聞く。

打ち合わせ会では、今後の検討会の運営方法等について協議する。住民代表については、さつま町と薩摩川内市で現在選定中で、検討会委員予定者が出席する。

第7次災害査定結果

15カ所で11・2億円

県河川課

県河川課は15日、18年発生国土交通省所管公共土木施設災害復旧事業に係る第7次災害査定結果を発表した。決定額は県工事1カ所が9385万2000円、市町村工事14カ所が10億2655万6000円の合計15カ所で11億2040万8000円。

（個所別結果表を7面に掲載）

査定期間は18年12月4日から8日まで。施設別の個所数は河川7（1億3005万6000円）、道路4（1億5568万8000円）、橋梁4（8億3466万4000円）。土木事務所等管内別の個所数は、川内1（5億7921万1000円）、大口10（2億7738万5000円）、出水1（835万9000円）、大隅3（2億5545万3000円）で決定した。

なお、今回が18年災の同事業最終査定結果で、累計の個所数が1729個所で131億7429万2000円となった。

経審の経営状況分析 鹿児島で受け付けます。
低価格 ➡ 9,500円
分析時間 ➡ 2、3日間
※お急ぎの場合にはご相談下さい。
■お問い合わせ、申請書類用紙のご請求はこちらまで
国土交通大臣登録(建設業法第27条の24第1項規定)
経営状況分析機関(000005)
株式会社 九州経営情報分析センター鹿児島支店
〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目6-1 谷川ビル30
URL http://www.tkcnf.com/buns
☎099-284-1577 FAX 099-255-
0120-948707